

人工内耳(耳かけ型)の電池について

人工内耳(耳かけ型)の電池には、空気亜鉛電池と充電式電池があります。充電式電池を使っている人が多いと思いますが、購入時に空気亜鉛電池を入れて使うことができる電池ホルダーが付属されています。旅行時の予備として使う方もいますが、災害等で充電ができないときに知っておくと便利です。

空気亜鉛電池を使用するときの注意点をコクレア社とメドエル社に聞いてみましたので、紹介します。

メドエル社

通常の補聴器用電池と違い人工内耳用はハイパワータイプの空気亜鉛電池になります。パワータイプの記載として675という電池の型と共にパワータイプのPがついております。ネットで購入される際に記載がわかりにくく悪辣なものが多くなっており、購入後結局補聴器の電池であったなどのご意見を伺うことも多くあります。そのため記載についてはよく確認していただきご購入をしていただきたいと思います。使用できる電池を購入する際は弊社含め人工内耳の会社でご購入いただくことが一番安全と思われれます。

その他使用可能なものについてですが、別の会社が販売しているものもございます。主にはレイオバック社(アメリカ)、ゼニパワー社(中国)が出している製品もごございますが、ファルタ社製の空気亜鉛電池が最も安定して使用することが可能なため弊社としても取り扱いを行っているファルタ社をお薦めいたします。

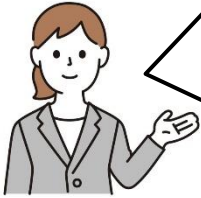
補聴器用電池は基本的に使用に関して問題はございませんが、影響としましては使用する時間が極端に短くなってしまふ、もしくは電源を入れてもすぐに切れてしまふ可能性があるということです。その理由としましては補聴器よりも多くの電圧が必要となるため、補聴器用電池ではその電圧が足りず動作不安定になるということです。緊急時(例えば災害など)でどうしても補聴器用しかないという場合には、補聴器用の電池でも使用していただき聞こえを担保していただければと存じます。

ハイパワータイプの空気亜鉛電池、補聴器用電池どちらも使用することで機械が壊れるといったことはございませんのでご安心ください。



メドエル社 SONNET2
空気亜鉛電池を使用した際の
現物写真

コクレア社



取扱説明書にある通り「人工内耳(インプラント)用に設計された675(PR44)空気亜鉛電池を使用することを推奨します」としております。基本的には弊社で販売している製品を、お使いいただくようにご案内させていただいております。補聴器用と書かれている空気亜鉛電池では出力が足りずご使用いただけなかったり、すぐに電池が切れてしまったりすると伺っております。緊急時に使用した場合、故障に繋がるか検証はできておりませんが、実際に使用されてもお使いいただけないことが多いようです。

電池パック

Nucleus 7 サウンドプロセッサは、使用する電池パックを次の3つのタイプから選ぶことができます。



空気亜鉛電池用電池パックは次のもので構成されています。

- ・ コクレア電池カバー
- ・ コクレア電池ホルダー

2個の使い捨て電池を使用し、保護ロックが付いています。



コクレアスタンダード充電式電池パック



コクレアコンパクト充電式電池パック

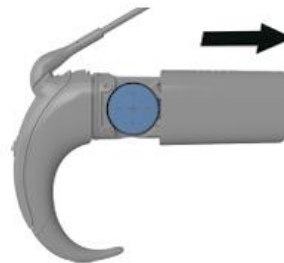
株式会社日本コクレア ホームページ掲載
NUCLEUS 7 サウンドプロセッサ取扱説明書
より引用

使い捨て電池の交換

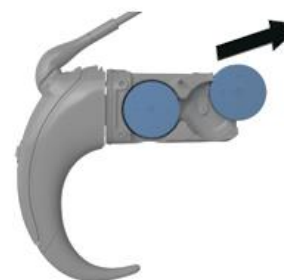
空気亜鉛電池用電池パックは、2個の高出力空気亜鉛電池を使用します。コクレア社は、人工内耳用に設計された 675 (PR44) 空気亜鉛電池を使用することを推奨します。酸化銀電池またはアルカリ電池は使用しないでください。



1. コントロールボタンを5秒間長押ししてから放して、サウンドプロセッサの電源を切ります。



2. ロック解除した電池カバーを電池ホルダーから外します。



3. 電池ホルダーから電池を取り出します。

どちらのメーカーも電池ホルダーが付属されていますので、まだ使ったことがない人はあるかどうか確認してみましょう。また、もしもの時のことを考えて試しに使ってみて、いつでも使えるように準備しておくとう安心です。不明点等については、各メーカーまたは病院にお問い合わせください。

補聴器を使用している方も非常用持ち出し袋等に補聴器用電池も入れておくとう便利です。既に準備している人もいると思いますが、定期的に使用期限も確認してみましょう。